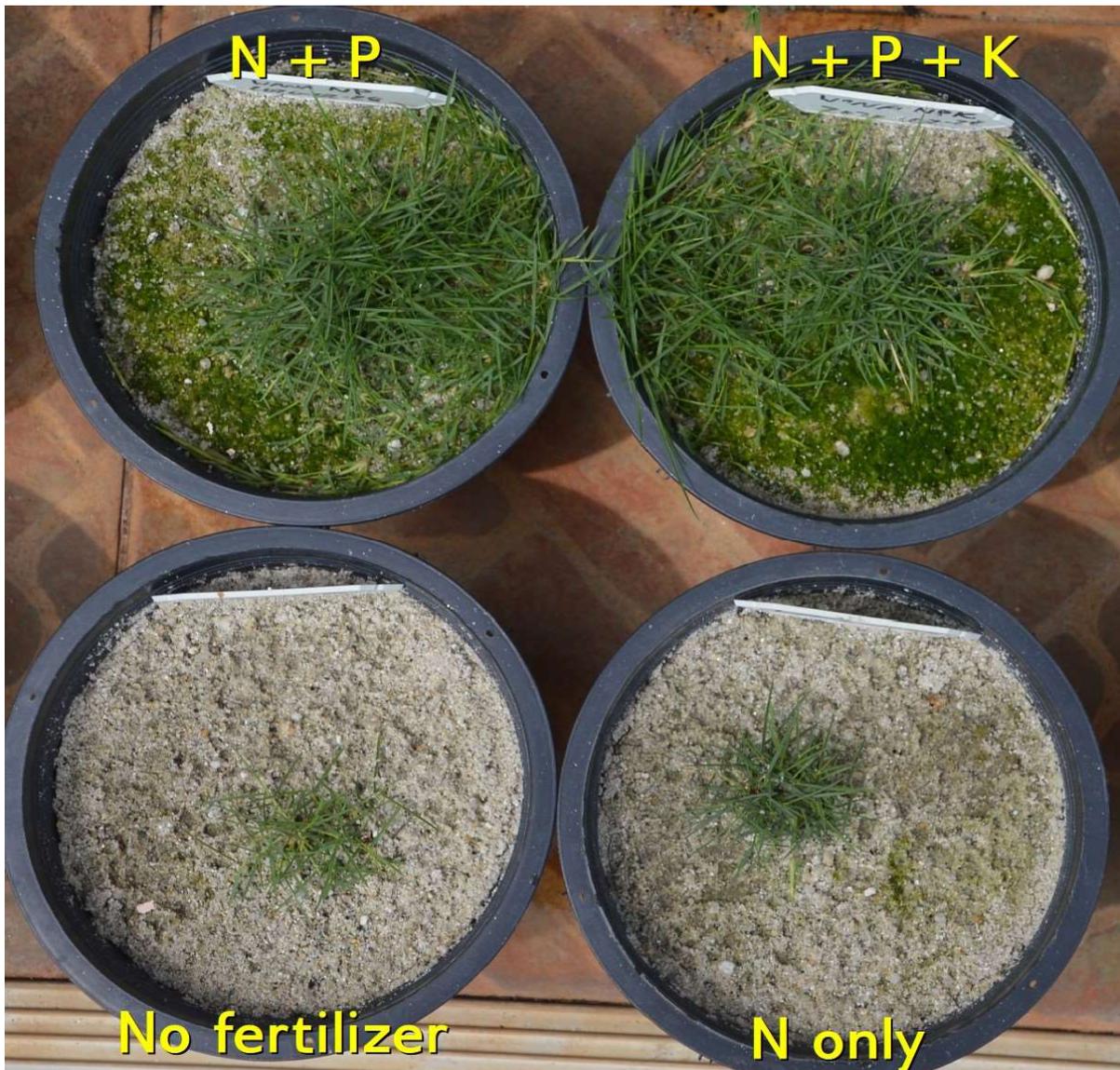


Dr.マイカの芝生管理シリーズ2

藻類と、砂と、リン肥料

今回のマイカ先生のブログは、芝へのリン酸投与に関するお話です。

2月28日に、砂を入れた植木鉢に「ワナ」という種類のマニラグラス（コウライシバ）を植えた。地下茎を、それぞれの鉢に2節の長さに切って植えた。どの鉢も露天において雨に当て、水やりも行った。一つの鉢は無施肥で育成した。もう一つの鉢はチッソ（尿素）のみを与えた。もう一つの鉢はチッソ（尿素）とリン酸（リン酸二アンモニウム）を与えた。最後の一つはすべての主要栄養素、チッソ（尿素）、リン酸（リン酸二アンモニウム）、カリ（塩化カリウム）を与えた。



リン酸を与えた鉢では、藻類が砂の表面を覆っている。植え付け 72 日目。

使用した砂にはカリウムがたっぷり含まれているらしく、肥料として与えたカリウムには全然反応がなかった。リン酸に対しては明らかな反応がある。

藻類の繁茂もその一つである。



マニラグラスにリン酸を与えると生長が速まるが、藻類も増える。

実は、植え付け後2週間ほどで、こうなるのではないかという予兆があった。



リン酸を投与した鉢は、植え付け11日目から、ある兆候を示し始めた。

72 日間の生長の速度を見れば、リン酸が生長を促進したことは疑いないことである。だが、ターフが出来上がってしまえば、リン酸を与え続ける理由はなくなる。リン酸を止めれば：

1. 藻類が出現するリスクを減らせる。
2. 土壌汚染のリスクを減らせる。
3. カタバiraの侵入リスクを減らせる。
4. コスト削減になる。

初期生育中は別として、活着後のターフならば、土壌分析で定期的に報告されてくるリン酸の量を継続的にチェックするのが良いと思う。自分の土壌のリン酸と [MLSN ガイドライン](#) のリン酸を比べ、芝の状態を評価し、その上でリン酸を入れるか入れないかを考えるのが良い。

関連情報はこちら：

- [P deficient bentgrass](#) (リン酸欠乏のベントグラス；ダグラス・ソルダット博士より)
- [John Kaminski's SlideShare about algae](#) (ジョン・カミンスキの藻のスライド；特にスライド No. 28 に注目)
- [Can you see the P?](#) (リン酸が見えますか？)
- [Phosphorus deficiency symptoms in the control plots](#) (対照区でのリン酸欠乏症状)

公開日：2020年5月10日

ゴルフ場セミナー2020年5月号への寄稿より